

目次

[概要](#)

[説明](#)

概要

データ損失防止 (DLP) で健康保険移植性および責任能力行為 (HIPAA) ポリシーが設定されている Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) で、本文で社会保障番号だけ含まれているメッセージはポリシーの違反として検出する。

説明

あらかじめ定義された DLP HIPAA ポリシー テンプレートは HIPAA 辞書 分類子を医学関連のデータを検出するのに使用します。この分類子は忍耐強い識別分類子を個人情報を検出するために使用します。HIPAA DLP ポリシーはこの分類子の一致および DLP 違反を戻すように個人情報 識別子の一致が、米国社会保障番号または米国 National プロバイダ 識別子のような、要求します。

例

- アンギーナ、癌 (一致)
- 複数の条件を必要とするのでアンギーナ (一致無し)
- 頭痛、熱 (一致)
- 樟脳グリセリン (一致)
- ひびまひ状態 (一致)
- 切られるかみ傷 (一致)

米国社会保障番号分類子は、名前、またはストリング SSN 誕生日のような書式設定された番号、またサポート データを、きちんと必要とします。

例

- 321-02-3456 (補足情報無しが理由で一致無し)
- 321-02-3456 July 4 (一致)
- 321-02-3456 7/4/1980 (一致)
- 321-02-3456 7/4 (一致無し)
- 321-02-3456 321-02-7654 (複数の SSN が理由で一致)
- SSN: 321-02-3456 (一致)
- ジョー・スミス 321-02-3456 (一致)
- 321-02-3456 CA 94066 (一致)